



高年齢者の補聴器購入の助成について
小学校給食費無償化について
公明党 大下 久美

問 本市では、加齢性難聴の市民が補聴器の購入をためらう大きな要因として感じている経済的ハードルを、どのように認識されているのか伺います。

答（市長）：現在、市民から購入補助に関する話はありませんが、医師会などからも難聴が認知症につながるということを言われています。今後、第10期の高齢者プランを策定する中で、対象や額について近隣の状況を見極めて、実施の方向で検討したいと思えます。

問 小学校給食無償化では、国の交付金制度との差額について、保護者に負担を求めるといっていますが、本市が完全無償化としない理由について伺います。

答（教育長）：食べるものについては保護者負担を原則としており、セーフティネットとして経済的に厳しい方は現状でも10人に1人くらいの割合で無償となっています。そのような前提の中で、保護者負担が4万9500円から24800円になるので、かなり負担軽減になると考えています。海老名市ではその他の保護者負担軽減策を行っていませんので、保護者の方々に文書などで丁寧な説明をしてご理解をいただきたいと考えています。

答（教育部長）：国からの通知では、国の交付金基準額との差額については各自自治体の判断で保護者から徴収することが可能である旨が示されています。また、学校給食法は改正されていないため、給食費は保護者負担という原則が維持されています。これを受け、教育委員会ではこれまでの考えに基づいて給食の質および量を維持するため、セーフティネットを前提として保護者負担を求める方針を定めました。

その他の質問

・成人用ワクワクン手帳の導入について



県央東部消防指令センターの運用開始と消防の広域化について
政進会 倉橋 正美

問 平成27年に本市と座間市、綾瀬市の3市による消防指令センターの共同運用業務が開始され、令和8年3月から大和市を加えた4市での共同運用業務の一部が開始されました。4市の消防体制がより強固なものとなることで、市民の安心・安全がさらに向上することを期待していますが、共同運用は消防力の強化や効率化という効果が期待される反面、運用して見えてくる課題もあると思えます。4市間の協議の中で、課題をどのように認識されたのか伺います。

答（消防長）：共同運用に伴い救急の相互応援も実施するため、大和市が加わることで救急要請件数や応援、受援といった出動状況にどのような影響が生じるかが課題としてあります。このため、運用開始後に約1年間の出動統計を取ることで必要に応じて出動体制の見直しを行うなど、市民サービスの向上に努めてまいります。

問 市長が令和8年度市政方針で述べられた広域消防の可能性の研究について、本市はどのような考えのもとで研究を進めているのか伺います。

答（市長）：現在4市での消防事務の広域化に関する調査研究会を立ち上げ研究を進めています。指令センターの共同運用は、より大きなスケールメリットを生かせる消防体制となり消防力強化につながるものと考えています。将来的な人口減少は避けられないため、災害対応を担う消防は共同運用の先に広域化があることを念頭に置き、早い段階で対策を講じておく必要があります。今後もさらなる消防力の強化と行政運営の効率化に向け取り組んでまいります。

その他の質問

・防災対策について
・河原口高水敷（仮称）スポーツ・コミニティ広場の進捗について



県道40号横浜厚木の安全対策について
日本共産党 松本 正幸

問 県道40号の国分坂下から海老名小学校の間が狭く時間帯によっては通学、通勤、自転車なども混在し、大変混雑している状況です。利用者の声として、歩道をもっと拡幅してほしい、車道脇に自転車の専用ゾーンをつくらせてほしいなど要望要求が出されています。県道ではありますが、小学校区の通学路でもあり、安全対策は喫緊の課題ではないでしょうか。市としての認識について伺います。

同じく県道40号の図書館すぐ西側交差点の右折レーンの渋滞について、JR線のアンダーパス利用者が増え対向車も含め多くの車がこの右折レーンと左折レーンに集中し、なおかつ横断歩道もあり、交通渋滞と安全性の部分でも不安の箇所と認識しています。市の認識を伺います。

答（市長）：本市には10路線の県道が通っており、交通アクセスや土地活用などにおいて利点がある一方、渋滞や安全対策などに課題があると認識しています。これらの課題について、これまでも県に改善要望するとともに、連携しながら取り組んでいます。県の上郷立体事業が完成すれば改善されるため、もう少しの辛抱だと思っています。

答（まちづくり部次長）：海老名小学校の通学路部分については、市から県に対し、継続的に歩道の拡幅整備の要望を行っています。県からは用地取得が難航しているため、暫定的な対策についても検討していると回答を得ています。図書館すぐ西側交差点では、上郷河原口線を市立図書館前交差点からさらに南側に延伸する計画に取り組んでいます。上郷河原口線延伸と県の上郷立体が供用されれば混雑緩和が進むものと考えています。

その他の質問

・ららぽーと周辺道路の渋滞対策について
・高齢者の移動支援について
・生活保護行政について

